

## 問題は山積み。 日本の原発の行方は？

浅田 ぼくのいる京都造形芸術大学は、通学部門のほか、通信教育部門にも力を入れてる。とくに芸術分野だと、退職してから陶芸を始めるとかいう人も多いからね。で、スクールリングでときどき学校に来て若い人たちと一緒に学んだりもする、それがけっこう楽しいみたい。さらに、社会人向けのいろんな公開講座も開設してる。そういうスクールリングや公開講座の拠点として、姉妹校の東北芸術工科大学と共同で、東京藝術学舎ってのをつくったわけ。たとえば今年にはフランス・ペーコン展があったんで、キュレーターの保坂健二朗を中心に公開講座を企画して、ぼくも初回に話したけれど、そういう現代的なテーマから古典的なテーマまで、あるいは理論から実践まで、いろんな可能性があると思うよ。ネット社会でもあるし、大学も18歳から21歳までの若者を開いて教育するだけじゃいけない。

田中 3歳から小学校入学前の幼児と母親を対象の京都での「こども芸術大学」の取り組みも画期的だし、先日、大文字の送り火で立ち寄ったら、放射能に汚染された「フクイチ」周辺の地域へ「3・11」直後から通い続ける大石芳野の写真展「福島FUKUSHIMA 土と生きる」が9月末まで開催されていて、妻と一緒に感銘を受けたよ。

浅田 東京電力福島第一原発から放射能汚染水が海に流れ出てたって、参院選後に発表があった。いよいよ国が前面に出て、土を凍らせた遮水壁で地下水を遮るっていうけど、本当にうまくいくかどうか怪しいもんだし、そもそも遅すぎるよね。

# 憂

## 田中康夫

今月の憂いゴト

放射能汚染水の流出から、アベノミクスの行く末、消費税率の引き上げ、クール・ジャパンまで！

東京・明治神宮外苑にある「外苑キャンパス」。  
蝉時雨が降り注ぐ校舎に現れたのは、田中・浅田両氏。  
屋外に広がる青々とした空をながめながら、  
雲のように多様な話題が湧き上がっていく。  
ふたりの、明快かつ辛辣な講義に耳を傾けよう。

photographs by Hiroshi Takaoka text by Kentaro Matsui

## 浅田彰

# 憂国呆談

season 2 VOLUME 39

田中 まったくね。汚染水漏れは東電の自己申告でもすでに5回目、今回は法令基準の数百万倍に達する高濃度汚染水が300トンも一つのタンクから漏れていると。汚染水処理施設だけでなく循環冷却装置も防潮堤も、震災直後に一時しのぎで仮設したまま2年半も使っているとは、当事者能力なしと言われて当然。で、こうした不完全な貯蔵タンクが1000以上もあって、最悪の場合、計35万トンが今後も海洋流出する可能性が高い。

ところが、柏崎刈羽原発の再稼働申請では社長自ら会見したのに、汚染水流出の会見は原子力・立地本部長代理が対応してきた。これだけでも危機感ゼロ。今回の海洋流出は海外では極めて深刻にトップニュースで報じられていて、今後、各国から海域汚染で損害賠償請求されかねないのに、社長の廣瀬直己に会見を求めない日本のマスコミも危機感ゼロ。

浅田 私企業であるかぎり、電力会社が事故処理費用をできるだけ圧縮しよう、原発をできるだけ生かそうとするのは、当然といえば当然。アメリカのように原発で重大な事故が起これば政府が私企業をオーヴァーライドして管理を引き受けるようにすべきだし、さらに言えば原子力関連施設はすべて国有化すべきだと思うね。

田中 終始一貫、我々は提言しているのに、聞く耳持たず(涙)。

浅田 フクイチ事故で巨額の賠償債務を背負うのが現実になった東電が、円滑に賠償金を支払えるようにとの名目で政府と電力会社の共同出資で設立されたのが原子力損害賠償支援機構。原発事故による賠償責任を、原則として電力会社に負わせる原子力損害賠償法に基づき、2011年8月に支

援機構法が成立し、急場しのぎで設けられた。賠償資金は5兆円を上限に政府が事実上、前貸しし、東電は支援機構に30年以上かけて分割返済する。表向き公的資金の負担はない。とはいえ、電気料金に上乗せされる。しかも昨年末の段階で東電は、賠償費用が10兆円を超えそうだといい出した。田中 経産省から東電の取締役に転じた嶋田隆は「このままでは超長期にわたって借金を返済し続ける『ゾンビ企業』になってしまふ」と訴えてるけど本末転倒でしょ。前から何度も言っているように、東電を破綻処理し、清算会社の旧東京電力と新関東電力に分割し、国や歴代役員、金融機関、株主の責任と負担を明確にした上で税金を投入する、それが資本主義国家の鉄則でしょう。

浅田 そして、旧東電を含め、原子力関連施設を一括して国有化する。脱原発への道を実なものにするには、それくらいのことをしないと。田中 誰が考えても分かる話か、どうして通らないのかね、この国では。他方、日本原燃が建設中の青森県六ヶ所村の使用済み核燃料再処理工場は20回目の完成延期が決まった。首相もビックリの再チャレンジだけど、相変わらず「トイレ」はどこにもない状態で原発の再稼働を進めようとしている。

米エネルギー省副長官のダニエル・ボネマンが、アメリカは日米原子力協定に基づいて使用済み核燃料の再処理を日本には許しているのに、もっとも期待に届いていないじゃないか、と苛立っている。無論、彼は原発推進派だけど、であればこそ、原発再稼働を日本が既成事実化する前に対処す



べき事柄が山積みだと。迷走を続ける日本に代わって我が国が再処理を担当しよう、と韓国が動き出しているのに能天気だよ、確かに。

中国・広東省の江門市で7月上旬、核燃料工場建設に反対する約1000人の住民が抗議デモを行うと翌日に突如、計画が白紙撤回された。「核汚染反対」原発は未来を絞め殺す」と並んで「GDPより命が大事だ」と記されたプラカードが目立ったのは、抑圧を受けてきた新疆ウイグル自治区やチベット自治区の少数民族だけでなく、急速に拡大する貧富の格差への義憤、環境や食の安全への不安といった閉塞感が漢民族の中にも渦巻いているからで、こうしたデモがほかの大都市にも波及するのを恐れた北京の中国共産党中央政治局の高度な判断だと言われている。

今回のウラン精製・濃縮プラントも、国有企業の中国核工業集団と中国広核集団が建設する日本円で6000億円近い計画だった。操業中の原発が13基で「トイレ」問題は深刻なんだ。世界的にもイギリスのセラフィールドの再処理工場は閉鎖され、映画「100、000年後の安全」で知られるフィンランドのオンカロの処分場も建設中。放射性廃棄物の最終処分場は、地球上に存在しない。

だからこそ脱原発を目指すべき我々としては逆説的な意味でも、MOX・プルーサー再処理計画を日本は断念し、その代わりにベストな人材を集めて廃炉技術や処理技術高め、放射能に占領された領土のフクイチ30キロ圏内に世界中から核廃棄物

を受け入れる決断こそ、最大最強の安全保障政策だと述べてきた。そもそもアメリカは核不拡散の立場から再処理を行ってないんだよ。

浅田 それどころか、国内の事故処理の目処すら立たないのに、首相がトップセールスで各国に原発を売り込んでる始末。日本ですらあてていたらくなのに、途上国で原発の安全を確保していけるかどうか……。

田中 紅海から10キロ近く離れた場所でもヨルダン政府が計画している原発を受注しようとして躍起だけど、冷却水はどうするのだと疑問視されている。トルコでは三菱重工業がフランスの原子力企業アレバ、電力会社GDFスエズと組んで優先交渉権を獲得したけど、お膳立てはトルコに強い伊藤忠商事が担当した。社長の岡藤正広は業界3位を9年ぶりに奪還し、責任逃れと問題先送りの象徴だと会議時間や説明資料を大幅削減させた魅力的な経営者だけど、「日本政府は政策として原発輸出を決めた。トルコもエネルギーとして原発を考えている。政府の政策にのっとって進めるのが大前提。ビジネスになれば何でもいいということやない」とインタビュアーに答えているのは、どうなんだろう。

浅田 アメリカでもフランスでも新たな原発の建設は難しくなってるし、安全対策の上積みが必要だからコストも増える一方。どの道、ギリ貧なんだよ、原発は。そもそも、自民党が原発建設を推進してきたあげく、ああいう事故が起こった。そこでたまたま政権を担った民主党が、脱原発の方針をもっと明確にすればよかったんだ。ドイツ並みでいいんだから。ところが、菅直人元首相がその方向に踏み出したとたん、官民あげての大パッシングで引きずり下ろ

しちゃった。性格的に問題があったのは確かだとしても、あのバッシングは異常だったと思うよ。で、菅を下ろした後は脱原発も曖昧になっちゃった。揚げ句の果てには大島章宏のような原発推進派が民主党幹事に選ばれる始末。結局、脱原発を求める有権者は、参院選でも山本太郎くらいしか選択肢がなかったわけだ。

田中 「電力会社に地球を汚す権利はない。これは人類の共有する空間と海域を汚染した公害事件だ。裁判では『無主物（所有者のない物）』という詭弁がまかり通った。裁判所は地球を汚した東電に無罪という判断をした。過去の公害事件も『無主物』の判断があれば無罪になってしまう。住んでいた町を住めなくされても事件にされない

ということとは、原発事故は合法的な事故ということなのだろう。憲法を守らないことが正義で、事故で国民が死ぬことも正義とされている。日本は狂ってしまった」

今年7月に福島県・大熊町、双葉町で実施した放射能汚染マップを掲載の月刊誌『DAYS JAPAN』9月号に、双葉町長だった井戸川克隆が「祖国の荒廃と難民の嘆き」と題して寄稿した文章。あまりに深く、重いので、もう少し読ませておくれ。

「数千年続いてきたこの土地の寿命は原発が建ってからたった40数年で閉じられようとしている。にわかづくりのタンクに穴があく速度は想定し得る。まもなく恐ろしい光景を見ることになるだろう。これが解らない政治家と公務員がいるこの国は恐ろしい限りである」

「3・11」以前から原発の危険性を問うていた元福島県知事の佐藤栄佐久と同様に立派な政治家なのに、その二人とも「ページ」されていく日本に未来は訪れるのかな。

### アベノミクスは、悪いインフレを引き起こす？

浅田 安倍首相が「経済状況を見極めながら判断する」って言ってる消費税率の引き上げがこの秋にも決断されるけど、すでに国際的約になってるし、上げざるをえないだろうね。増税は必ずや景気の足を引っ張るけれど、先送りすればいいよ日本国債の投げ売りにもつながりかねないから。

そもそも人口減少社会で成長戦略とかいっても難しい。結局、アベノミクスっていつだって「異次元」の金融緩和でバブルを煽ってるだけ。それで1パーセントの富裕層は儲かっているかもしれないし、円安で輸出企業は助かっているけど、一般大衆にとっては、給料が上がらない一方、輸入品が高くなるだけ。他方で「国土強靱化」を名目に財政のバラマキに走っているんだけど、物価上昇率2パーセントという目標がもし達成されたら、金利はそれより高くなり、



### 田中康夫

たなか・やすお ●1956年東京都生まれ。  
一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。  
長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。

その途端に膨大な金利負担が財政の首を絞めることになる。すでに選挙前から長期金利も株価もかなり不安定な動きを示したんで、アベノミクスが評価されて与党が選挙に勝ったなんてまったくどうかしてるよ。田中 株の空売りや信用取引というのはある種の「プロ」がやるものだった。それが今や、ミセス・ワタナベ的なFXを始めてみたら儲かっちゃった主婦やサラリーマン投資家がロレックスだのフェラーリだのを買うという、それが妙なアナウンス効果になって、景気が上向いていると勘違いする危うさがつきまわっているよね。

浅田 結局、いわゆる晩期資本主義では、過剰なマネーからバブルが生まれてははじける、その繰り返しになっちゃうんだよね。古典的には、実需に見合った生産拡大があつて、雇用が増加し賃金上がる、その循環で景気が回復するはずだった。ところがいまは、バブルの儲けが上から下にしたたり落ちる（トリクルダウン）のを期待する

ばかり。当然ながら、それは空しい期待なんだよ。

田中 雇用労働者に占めるパートや派遣社員など非正規労働者の割合が38・2%、2042万人に昨年達したと総務省が発表している。自治守が守ってくれない「官製ワーキングプア」と呼ばれる臨時・非常勤雇用の非正規公務員も60万人を突破している。新自由主義を徹底するなら逆に全員を非正規扱いにするほうがフェアだという論も成り立つわけで、最初の1年間は試用期間の非正規。その後も5年契約で更新。もつと待遇を求める人は2年契約といった具合にね。なんだか世の中は19世紀あたりに逆戻りしているなあ。

浅田 他方、いわゆるブラック企業が横行し、社員の自殺率の高さが問題になっている。たとえばアップルは世界企業としてカッコよく見えてるけど、下請けとして実際の製造を受け持つ中国のフォックスコン（鴻海科技集團）では、夜中に図面が届いても1



時間で数万人の労働者を動員できるっていうから、もはやある種の奴隷労働なんだよ。そういう意味では、AKB48はまさにグローバル資本主義に対応してるのかも。普通は歌詞ができた後に作曲して、アレンジして、歌って、振り付けして、撮るってのが順序なのに、ヴィデオを撮るのに何百人が待機してるところにまだ秋元康の歌詞が届かない。ようやく歌詞が届いた途端、仮の歌や振付を急いで修正しながら全員で歌って踊って撮影するわけ。それが可能なのは、仮の歌をつくって録音して練習させておくスタッフが24時間待機してるからなんだよね。まさにフォックスコンと同じ一種の奴隷システム(苦笑)。

田中 先月も触れたけどアップルやアマゾン、グーグル、スターバックスといった多国籍企業ならぬ無国籍企業が、実際に事業を展開している国で税金を納めていない問題がアメリカやイギリスをはじめとする「先進国」の議会で大きな議論になっている。浅田 グローバル資本主義が成立した以上、本当はグローバル政府が必要なんだよ。少なくとも、徴税に関する国際協力を密にして、グローバルに徴税しないとね。世界を駆け回る投機マネーに対する、いわゆるトービン税も含めて。

田中 おっしゃるとおり。どこで何人働き、何をいくつ作って、どこでいくつ売れたか、同時に把握可能な時代なんだから、事業展開しているそれぞれの国で、事業量に即して税金を払う仕組みにしないと。こうした外形標準課税の発想は、日本国内でも必要だよ。全国で自治体が工場誘致をしても、法人税は東京や大阪の本社登記地に支払われるから、多少の雇用が見込めるだけで地元の税収増には繋がらない。

自治労が守ってくれない「官製ワーキングプア」と呼ばれる臨時・非常勤雇用の非正規公務員も60万人を突破している。(田中)

ところがいまは、バブルの儲けが上から下に

したたり落ちる(トリクルダウン)のを期待するばかり。(浅田)

その日本では財務省のデータによれば、

株式会社7割、連結決算を導入している大企業でも66%が法人税を1円も支払っていない。で、法人税の引き下げを声高に求める経営者たちは、わずか3割の企業に加重な負担を与えている理不尽さには無関心を装っている(苦笑)。利益に課税する現在の税法系では、債務超過の会社を買収した企業が、その負債を一括処理して赤字決算となると、仮に翌年以降に黒字転換しても自動的に最大7年間は国税の法人税と地方税の法人事業税を1円も納めずに済む。フェアからはほど遠いこのシステムを変えないと。赤字だって企業活動で収益を上げているのだからね。全ての株式会社が広く薄く外形標準課税で納税すれば、法人税率を現在の3分の1に下げても、全体では1割の税収増になる計算でしょ。強き助け・弱きを挫く社会を真っ当に変える第一歩なのに、これも原発国有化と並んで、にやかにやか決断しない(涙)。

### 寿司とラーメン、どっちがクール・ジャパン?

田中 クール・ジャパン推進事業に政府が600億円も出資するけど、正統な寿司や

和食を海外で普及させるという上から目線な意気込みがわからない。だったら、世界中の日本大使館に料理人を送り込んで、毎週末、貧しい人もセレブの人も誰でもウェルカムで日本料理を試食させる材料費と人件費に10億円使うほうがまだ意味がある。

浅田 秋元康もその委員の一人だからね。田中 人選自体のクールさも問われているのかあ。でも、クール・ジャパンそのものが悪いわけじゃない。辰野金吾が東京駅を造ったのと同じように、カレーもラーメンも良い意味で換骨奪胎して自家薬籠中の物としてきたのが日本の知恵。だから、構わないんだよ、アボカド巻きの寿司があっても。フランス料理のヌーベル・キュイジーヌも、日本の女性と恋に落ちた著名なシェフが、懐石料理の八寸からひらめいたのだから。

浅田 そもそも日本のマンガやアニメやゲームは放つとしても海外で商業的に成功してるんだから、わざわざ経済産業省が乗り出して後押しすることなんかないんだよ。むしろ、政府は著作権の保護みたいな基本的なところを担うべきなんですね。悪い冗談でいえば、「ドイツのワイマール憲法もいつの間にかナチス憲法に変わって

いた。あの手口を学んだらどうか」と発言して大顰蹙を買った麻生太郎副総理兼財務大臣をクール・ジャパン担当に専念させればいいんじゃないか。「ゴルゴ13」を地で行って、善くも悪くもキャラ立ちしてるから。

田中 モスクワへ行くのにあの出で立ちはないでしょとは思ったけどね(苦笑)。話は変わるけど、いとせいが書いた芥川賞候補の「想像ラジオ」を、選考会後の会見で島田雅彦は全否定に近かったけど、

僕は評価するよ。あざとい構成だと思う人もいるだろうけど、着想はなかなかユニークで、聞かしているのに聞かえてこない、見えているのに見えてこない「3・11」以降の世界とIT社会の現在を的確に表現していた。なのに、「村上さんという彼の友人」と村上龍の言葉を借りてデイスるんだからね。

浅田 自分の言葉で言うならまだしも、村上を引用するのは双方に失礼だね。田中 本当だよ。

浅田 そういえば、いとうの小説では、どいうやら津波の被災者であるらしいDJアークが死者の声を「想像ラジオ」の電波に乗せていくわけだけど、その名も「アーク・ノヴァ松島2013」っていう音楽祭が9月27日から宮城県・松島町で開かれる予定。磯崎新が、アニッシュ・カプアっていうインドの彫刻家を起用して、空気膜構造の可動式ホールをつくった。名づけて「アーク・ノヴァ」(新しい方舟)。そこでクラウディオ・アバドがルツェルン祝祭管弦楽団を指揮したり、坂本龍一や大友良英がコンサートをやったり。むろん、それも含めて偽善っていう批判もできなくはないけれど、露悪よりははずっといいんじゃない?



浅田 彰

あさだ・あきら●1957年兵庫県生まれ。京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。83年に出版されたデビュー作『構造と力—記号論を超えて』はベストセラーに。